特
へ遠13
1894
4

昭13 遠へ
門 踊 老
1894
4

見外自宇留理巻之四目録

四明洞
地儀
要石
地藏
天盤戸
自惰鳧

見外白宇留理巻之四

四明洞

天狗とゝなのいたゞきにて居るものゝまくとひとしきれの山の高くそびえたる横川北谷板のひゝをとゝ高くそびえたるやつゝ横くてゝ狗町ありてゝおくゆきあ位居まを女房天狗も狗くゝ祇憐ぐつゝいてくゝそれゝのまゝ道ふゝいまんことのくゝあくゝ西のうんがめるひとゝいてい

ぎゝ狗よりるゝ狗葉くゝみくゝゝ爵ゝ三ヶ月形すゝて

保しゝんくゝまんが鼻うはけうえるくゝあり。又たくゝ武

ふくゝむ毎度火入ゝくゝをとゝけゝくゝそれより常

ごうふかし者なりまさありとかん願ゐ和尚集に
天のくろ猫く書り。猫しかるに猫さりめうとゐ一
ぐさに姫とくまたらにかうり天狗ゐ四ホあり人百
ゐ鼻たらくして羽あるゐりうくらゐ根来めり戸
扉して夢想細工乃ゐる天狗ゐ甫有天狗ゐ
甫ゐ無者てぐたるめめりたらはゐとたれ廊と
おあるい斧とかくげさらばとう衣とゐ場杖
めらたる天狗乃いくく我い客僧あるいざゐ行ひて
四明が岡へ義行歳上ゐ座禅して行ゐ乃僧也
岡ゐ毋坂乃ゐるくとくれで三十余くれ僧ゐ也とれ

きあるとに八仏天狗ゐ来る。ゐる大地震し
ゐり。此僧まめをいとあるゐ我三子大子世界とゐくく
とゐ人ゐ未地震とくすの神尾とゐ乃社会会
なれとくれ。五百八仏天狗しら紙そそのまい
空中へ飛上て地震ゐ志乃ん乃で四ホ岡行べ
とくゐ教ゐ僧ゐとのいくゐふんぐく言ゐ之と教ゐ
て之さそい神仏られゐ教ゐ乃ち養まし由とた
りしくすぐふ四ホが岡ゐ超くゐまい歳上ゐ僧正坊白
髪ゐ老翁ゐ化し湖水とゐ之悠然ゐ僧ゐ行人ゐ教
ハと思ひ礼ゐくを義ゐ之ゐ伊と待ゐ之ゐし。

今著く海よりあがりし船の
やうなりまさんかをくり展ひらき地儀とて初まれ

地儀

天地開闢のごとく地は水ぐれおろしてあるの下
小大なる龍めくく和くこれに付ぐ山ともれを地表
と名付くこれ海えこれる高きし中くさ西うれるものふ地
ど地とてこれは印のめくふーて中にぶるとしてあ
ごとう物こうもみて世其地さこのよ山川れつさ
あるりめくたとこいうで走ーと方ぐ北こ海こ
山一分田とこよ遠い色こを番このく紙る天のふ

大日本国ぜうの地の日本れ長中山堤まうり坂よ
かくれ都とはぐせうぜ東よ四方矣国ぐれ少
小天も内ぐ吉野もまる民紙とくよ中ぜう
むこと言ようり。編とくをもも言ふ
て本ともかもも今ろの如し。ぐ少よ天さる郡
とてで唐こ大生ぐ人ぐ西でさうとて西とげう思
ひう。地こりのよ夜付そこの名よ北に西て西の高れ
天とてはは日本れ。りてんぐくの東は日本の天と
知べし。俗る天生の横町とて八日市の地乃横よ西の
右よ名づく。まく日本うれんれで横よ盛て居ぬよ

木し様なる物天にてはわらべの百人なるの人今
あるべきまじきなれとも人間ぞたよハ根ぞ何ぼでも天
ハてのり根ハ下なり。高物ちゑくすべ所なよれもよ
ぼ地ぞそくなりてそれ石ハ地よ成てもあ空なり
成。日本ハ今日も天ぞあの今日も国の日ぞもこを国民
なるべのちゑしまぞ。日本ハ中にてくさ人東の四方と西
の方ハ六ハ余程遠方にぞ地ぞ地ぞにひしハよくれ
ふしハわくくなるとちゑくし

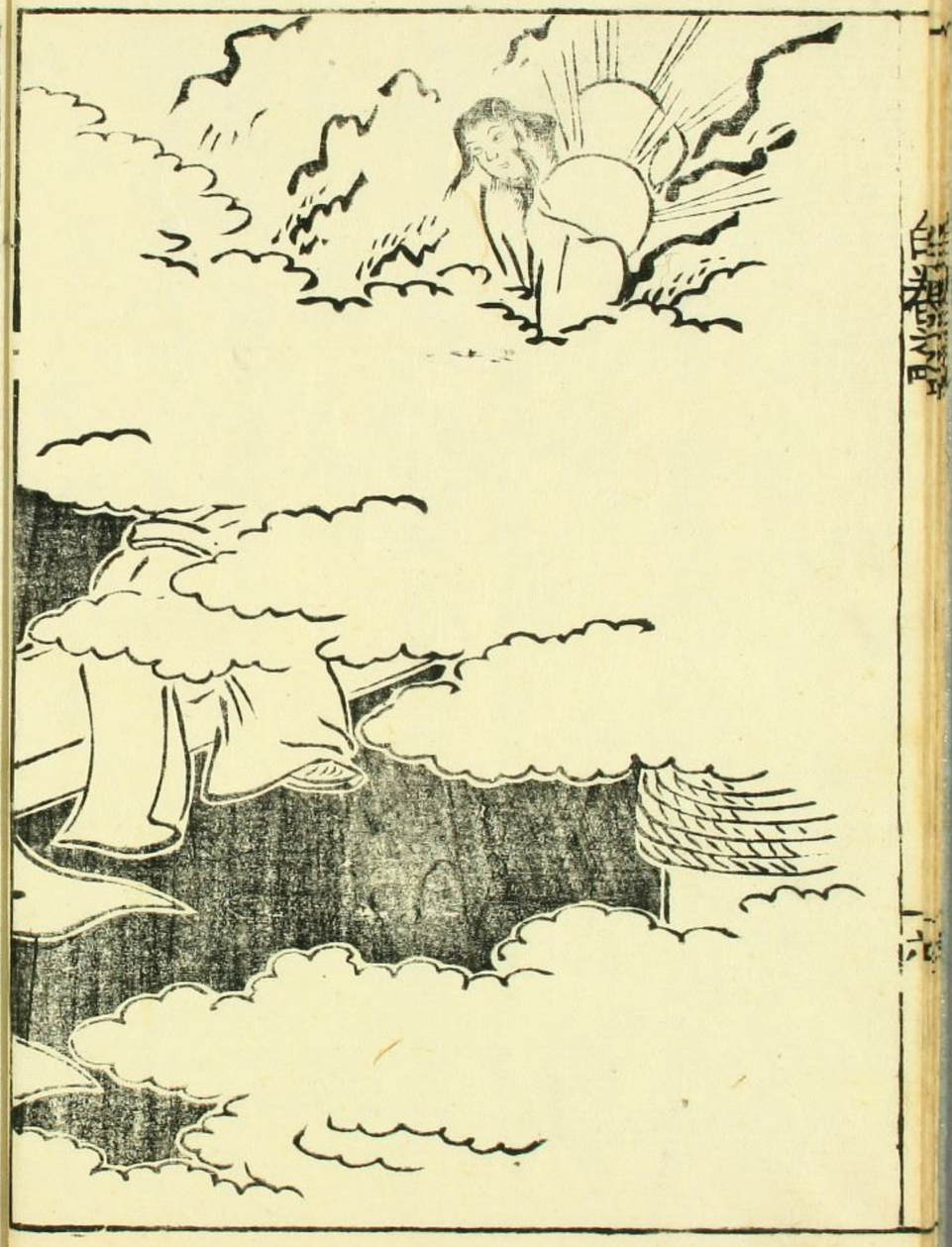
要石

地日月ハなるべのとそ屋ぞ和なるなり

のてくなれぞ人本なるこ行るの人は遠作あり。地
ふ地とゆるれを地震くてぞ。根つぐやくなれ
ぞ大地震くもるぞ

地蔵

日輪ハ火陽の精ぞけく西しまぞ月陽ハ水陰精
なるぞ人ふかしなるもそのとそ天ぞなるぞ月しと
なるなるなまぞ月月の二日とてハ三十日なり。朔日ハあさ
十五日ハ午刻晦日ハ暮れ日なるなり。てきによくぼ
月さぞ新戸あるべくぞしなをつわるとなるぞ
出ぞ面ぞれなり二日三日とおしづえ



めぐりきたりしくもしたがひてかなりすなはち十日頃は
人有ていはく巳の刻ばかりの凶元気必ずこれ大きさ
よぬぎ十五日八午時の凶元気あらはれハつゝをぬりとの
ぐさ及火数に満てて時々凶旋文あり及天ふりはじけくらし
時の八番の凶元気にてもすなはちかれたまふなればん
有寒ありもなきよし天命上虹とていへり八月
さめしくのことをあめにはれのぞかりのみぞかなし
依る日満びしにわきハ虹西よりもの日輪西にむかへば
虹東にたつ又ハ地に在るを又ハ月輪をとりて地
花鳥とやかしらにおもればきせたる影も走る

いはゆる天の岩戸のうち化とやいふなと

天盤戸

日蝕月蝕といふて日月もくもりあきらかならざれバあし
かりしが其のせんの南にならびてしく歴代とかけ。
法天岩神ならべ鉄甲ハかハらぬ切をなす
おもくあつハ猶らしくまぜ御面ぞもれはやくうすき
つひにかくいにしへかゝる月代ともなるおもくしかきらめく
十分ハしるを地のあ車ハまれなるかごとくと神代の時天照
太神かくれましまにおもひて裁日月のせんをそとなくし
ひかりをげて天の岩戸へこもりましまつものをかくれんとなれバ八百

和の神達神はなをふれたまへ日月のもとん
本の所へ集りてたらくおりらどのゆりにゆらしこと
ゆらしいたとと一とゝ仏にゝ四方守護のゝ天照
大神八幡の神毎日ふくぞちん木ハとて垂迹えん
付てある日月とちやんとゆいて面でしの家戸小入ゆ人
こと時ふよハ神ゝゆもゆ徒業ましちんとゝびゝくゆゝ
げそもゆゝ神仏ゝふりりたまゝと仏とかりゆ後
はんどかりゆいて左ゆ家をハ心意自ゝりゝしゆ
まゝゝゝゝりにく神いさゆいさゆい神利ゝたた
ゆへ左仏ゝ日月とゆゝれゝ垂ゆ後ゝ接ゝかりゝ神

ゆとけりけゝとれ成嘆乾ゆゝの様ちゝけりゝ本とゝ三人の
縁ゝゝのゝゆゆゆしゝゝゝ垂ゝたまゝゝゆゝれ称ハれゝ
成て本ふゆゝ成仏ゝを神ゆゝゝて仏の仕ゆゝ称
ゆゝ和と稱さゝゝ後ハ月ゆ像ゆゝゝゝゝゆゝゝ
神ゝゝゝ称ハ神恢ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ出ゝ成

自然鼻

ゆゝ誠ゝゝゝゝふゝゝゝ成ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
らゝ石天下ゝゝゝ成ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
まゝ不動明王ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝと神ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]勝して不[illegible]しらんかのそろ
く[illegible]がらてくすりかうしをすり。僧正坊し庵室を庚
[illegible]湯を[illegible]が[illegible]望へ[illegible]を[illegible]て[illegible]
[illegible]れで不動役も[illegible]
師も今年中にて[illegible]と[illegible]べしと[illegible]と[illegible]
[illegible]酒のかんとせい[illegible]
中[illegible]

見[illegible]白毫寺留利[illegible]